

バンテック、2011年3月期 第3四半期決算を発表

株式会社バンテック(本社:川崎市、社長:山田 敏晴)は4日、2011年3月期第3四半期決算を発表いたしました。実績および通期見通しは、以下のとおりです。

(1)2011年3月期 第3四半期実績の概況＝エコカー補助金の支給終了後も堅調な国内自動車生産等を背景に増収増益
エコカー補助金の打ち切りで国内自動車販売は落ち込んでいる半面、輸出向け需要の回復基調により主要顧客の国内生産や輸出船積台数が引き続き堅調であること、また国際貨物取扱量の増勢については一服感があるものの対前年では依然として増加傾向で推移していることから、前年同期比で増収増益。

(2)通期業績予想＝自動車生産が引き続き堅調に推移するとみられることから売上高を上方修正
国内の自動車需要が低下しているものの、輸出向けを中心に生産・輸出船積みが底堅く推移すると見込まれることから売上高は上方修正する。一方、利益面では航空貨物運賃の上昇・高止まりの継続などの影響から、通期予想を据え置く。

<2011年3月期 第3四半期実績の概況>

2011年3月期第3四半期(4-12月累計)は、自動車産業では日本国内でのエコカー補助金の支給が打ち切りとなったものの、後半は堅調な輸出需要に支えられ、主要顧客の自動車生産台数や輸出船積台数は底堅く推移、また国内外における航空輸重量・輸入件数の増加などにより、売上高は1,000億1,200万円(前年同期比21.5%増)の増収となった。

一方、利益面でも増収効果から各利益段階で前年同期に比べ増益となり、いずれも対前年との比較で大きく上回った。営業利益は46億8,600万円(同64.1%増)、経常利益は48億4,500万円(同58.8%増)、また四半期純利益は26億8,600万円(同39.7%増)と、それぞれ大きく上昇した。

報告セグメントでは、『国内物流』が主要顧客の自動車生産台数および輸出船積台数の増加により、売上高660億700万円(同17.5%増)、営業利益が29億5,100万円(同113.7%増)と大幅な増収増益。また、『国際物流』は、日本発着の航空貨物取扱量が前年実績を上回ったものの航空運賃の上昇などの影響から売上高181億1,500万円(同25.0%増)、営業利益8億4,600万円(同13.7%減)となった。一方、『海外物流』は、引き続き中国と東南アジアを中心に航空貨物取扱量が増加、また中国では自動車関連物流も増加した結果、売上高が158億8,900万円(同36.5%増)と大きく増え、営業利益は8億9,000万円(同80.5%増)と高い伸びとなった。

(注)当社は今年度から事業の種類別セグメントを変更しています。

・旧セグメント＝「国内物流」、「国際物流」、「その他」・新セグメント＝「国内物流」、「国際物流」、「海外物流」

主な変更点＝旧セグメントの「その他」は新セグメントでは「国内物流」に含まれます。また、旧セグメントで「国際物流」に含まれていた海外子会社の業績を「海外物流」として、独立セグメントにしています

<連結業績予想>

第4四半期(11年1-3月)も国内での自動車需要の減少傾向が継続するものの輸出向けを中心に堅調に推移し、売上高は当初の予想を上回ると見込まれる。利益面については航空運賃の上昇・高止まりの継続等の影響もあり、通期での予想を据え置く。

・ 2011年3月期 第3四半期(累計)の連結決算実績・予想と通期業績予想

(単位:百万円 カッコ内は前年同期または前期比増減率%)

連結決算	11年3月期 2010年4-12月 (A)	10年3月期 2009年4-12月 (B)	前年同期比 増減 (A)-(B)	11年3月期 通期 (11年2月4日公表)
売上高	100,012	82,302	17,710(21.5)	133,000(17.1)
営業利益	4,686	2,855	1,830(64.1)	6,000(42.0)
経常利益	4,845	3,051	1,793(58.8)	6,000(32.7)
四半期純利益	2,686	1,923	763(39.7)	3,000(20.5)